

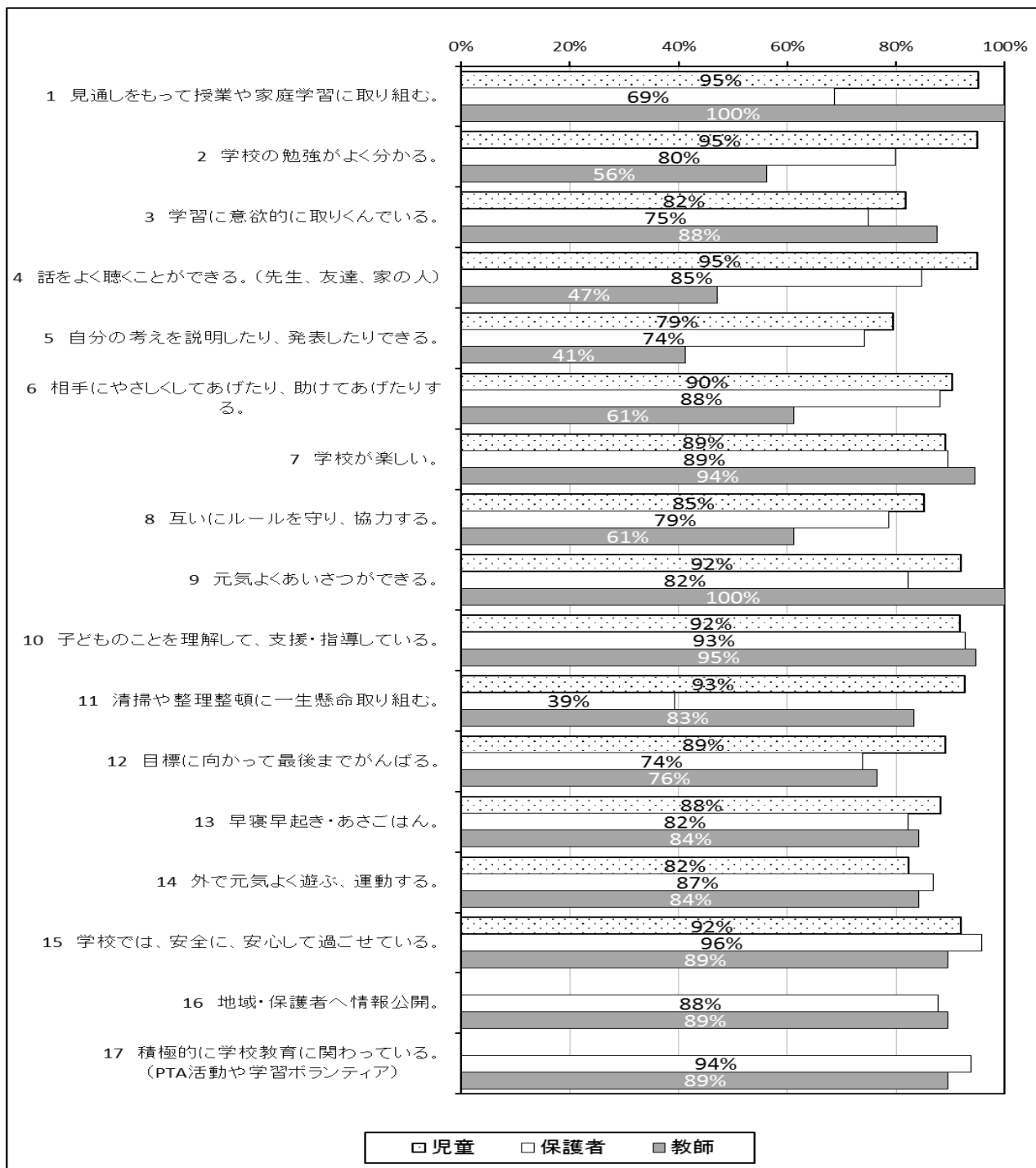


第1回学校評価のまとめ

7月に実施した本年度第1回目の学校評価のまとめについて、お知らせします。保護者の皆様には、お忙しい中、調査に御協力いただき、ありがとうございました。



3者（児童、保護者、教職員）による評価結果



これらの結果から、本校の良いところや課題を把握し、今後の指導に生かしていきたいと思います。

評価結果から見えてくる課題としては、2「学校の勉強がよく分かる」(児童 95%、保護者 80%、教師 56%)、4「話を良く聞くことができる」(児童 95%、保護者 85%、教師 47%)、5「自分の考えを説明したり、発表したりする」(児童 79%、保護者 74%、教師 41%)、8「互いにルールを守り、協力する」(児童 85%、保護者 79%、教師 61%)、11「清掃や整理整頓に一生懸命取り組む」(児童 93%、保護者 39%、教師 83%)の5点が挙げられます。児童は比較的良い評価をしているが、保護者や教師は評価していない項目を見てみました。

【課題① 学校の勉強がよく分かる】(児童 95%、保護者 80%、教師 56%)

児童は「授業がわかる」と答えていますが、教師からすると必ずしもそうばかりではなく、「まだまだ」というところも多いようです。学習状況には個人差もあるので、一括りにして述べるのは難しいですが、次のような点に力を注ぎたいと思います。

- ・ 児童が主体的に取り組む授業ができるよう職員が研修を重ね、互いに学び合ったり、高め合ったりできるように指導します。
- ・ 本来、学習は楽しいこと、楽なことばかりではありません。「大変なこと」、「手間のかかること」でも、最後まで根気よくやり遂げ、達成感や満足感といった質の高い楽しさ、喜びが味わえるよう指導していきます。

【課題② 話を良く聞くことができる】(児童 95%、保護者 85%、教師 47%)

こちらも児童は「良く聞いている」と考えているようですが、教師からすると目指す姿にはまだまだのようです。

- ・ より良い聞き方について話し合ったり、「聞き方のモデル(相手の目を見て、うなずきながら等々)」を示したりして、正しい聞き方が身に付くように指導します。
- ・ 授業の中で、正しい聞き方ができるよう、機をとらえた指導を続けていきます。

【課題③ 自分の考えを説明したり、発表したりする】(児童 79%、保護者 74%、教師 41%)

聞き方と合わせて課題が見える部分です。児童の評価も8割未満となり、自信のない児童が多いことがわかります。

- ・ 授業の中で「話し方のモデル」を示してまねしながら話したり、友達と意見の交流する中で、より良い発表や説明の仕方について考える機会を増やしたりしていきます。
- ・ 日常生活の中でも、職員との会話や職員室の出入り等、正しい言葉遣いを意識したり、自分の言葉で最後まで説明したりするよう指導したいと思います。

【課題④ 互いにルールを守り、協力する】(児童 85%、保護者 79%、教師 61%)

学校は集団生活の場ですから、みんなが少しずつ譲り合ったり、相手のことを思いやったりすることが大切です。教師の目で見ると、「学校の中のルールをもう少し守れるようになってほしい」というところがあるようです。

- ・ 「みんなが気持ちよく生活するために大切にしたいことは何か」について、道徳の時間をはじめ、全ての学校生活を通して、全職員で声をかけ、考え実践できるよう指導していきます。また、「いじめ」につながるような言動は「自分がされていやなことを、人にしない、言わない」ということを強く意識させ、厳しく指導していきます。

【課題⑤ 清掃や整理整頓に一生懸命取り組む】(児童 93%、保護者 39%、教師 83%)

学校の清掃の時間、授業の片付け等、決められた場面では、しっかりと働いている児童が多いですが、それぞれの家庭では、あまり片付け等に取り組めていないという保護者の皆さんの意見のようです。

- ・ 学校では引き続き、清掃や授業の片付け等、丁寧にきちんとできるよう指導していきます。それぞれの御家庭でも、児童の使う場所や使ったもの等、最初は限定された中できちんと片付ける習慣を身につけていくことをおすすめします。

学校ホームページ (<http://mori-school.jp/miyazono-e/>) には、グラフ等、今回の結果の一覧を、月末を目途に掲載させていただきます。お時間のあるときに御覧ください。なお、ホームページを見る環境が整っていない方や御希望の方には、印刷物でお渡しすることもできますので、担任まで御連絡ください。2学期も御協力をよろしくお願い申し上げます